
携帯アドレスと電話番号

寧祈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

携帯アドレスと電話番号

【Zマーク】

Z7562A

【作者名】

寧祈

【あらすじ】

彼女にふられた僕。ヒドイ彼女だったのに、携帯からアドレスが消せない。どうして?はやく忘れたい…。

雨の降る日、僕は携帯電話の画面を見つめていた。まさに今、1つのアドレスを消去しようとしている。そのアドレスには、『ラブ』やら何やら、恋人を想像させる単語がたくさん入っていて。その、『恋人』というのは、1週間とちょっと前までは嘘じゃなかつた。1週間とちょっと前から、嘘になってしまったのだ。

『「めん、付き合っていく自信無い……』

その一言で、僕の恋は終わった。別れた理由は、なんと彼女側の浮気。なのに、彼女にふられた。どうせなら自分から別れを告げたほうがスッキリしたと思う。てか、僕はただの遊び相手だったわけね。確かに、彼女（元）の本命は僕よりずっとカッコイイ。同性の僕から見てもカッコイイんだぞ？勝てたら奇跡だつての……。

…そんな感じで、結構ヒドイ彼女だったんだけど……。なんだろう？アドレス消せない。もちろん、電話番号だって：もつとも、電話番号なんてそらで言えるけど。…電話番号、自然に覚えるくらい電話してたんだな、僕。…遊ばれてたのに、馬鹿みたい……。

『ねえ、付き合わない？』

『何それ、本気？』

僕が笑つて返すと、彼女はにっこり。

『いつでも傍にいてくれるような……そんな彼氏が欲しかった』

『僕がいつでも傍にいてくれると思ってるの？』

『女の子には優しいもん。だから、いてくれるはず』

彼女はそう言って、僕の顔を覗き込んだ。

僕は告白されたのも、女の子と近くにいるのも（ほほ、だけど）人生初めてで、不覚にも

『僕も、可愛い子は大好き』

なんて事を返してしまったのだ。

今思うと…あの時から僕はだまされていたんだろうな。だって、一緒に帰つてもくれなかつたし。言つてみただけー、みたいな、軽い感じだつたんだろうな。

それでも、消せない。アドレスも、電話番号も。…あんなひどいふられ方したのに、まだ好きなのかな…僕。

『もしもし?..』

『あつ、どうしたのー?』

僕は毎日、部活が終わると彼女に連絡していた。

帰宅部の彼女とは、どうも話す機会がなかつたのだ。

『部活、ご苦労様』

『うん、疲れたよ。あーあ、勉強する気出ない』

『あつ、それじゃあ明日宿題見せてあげようか?』

『マジ? 助かっただーつ』

こんな毎日を繰り返すのが楽しくて。

いつの間にか、電話番号を田をつぶつても押せるようになったしまつた。

無理、だよ。僕にアドレスを消す事は。だって、心のどこかできつと思つてるから。彼女からの電話を、メールを。消してしまつたら、自分でそれをあきらめるような気がして…。

ピリリリリリリリリリリ…携帯電話の、メール着信音が鳴つた。もしかしたら、もしかしたら…。期待している。彼女からじやないかつて。興奮を抑えきれないまま、僕はメールの差出人を確認し

た。

『サヤカ』

彼女の名前じゃ……ない。ただのクラスメイト……。

何期待してんだろ?もう別れたくせに。本当にいつかはアドレス消さなきや……いや、その前にメールを読まないと。せっかく送つてくれたんだから。

『よつ、失恋男! でもさ、アタシがいるからねー。泣きたいときはいつでもおいでよ、幼馴染の失恋ボーイ君』

サヤカ……いい人だな。サヤカがいたら……もしかしたら、アドレスを消す事が出来るかな?

『慰めてくれんの』

たつたそれだけ返信した。1分もしないうちに、それに対する返信がまた送られてきた。

『うん、なんならアタシが恋の相手になつてやるつか? あ、これちょっとマジメ』

…何て返信しよう?…やつぱり「…」
『じやあ、よろしく。僕ら恋人同士だよ』

僕がサヤカの電話番号を完璧に覚える頃には、携帯から彼女(元)のアドレスが消えてるかな?

(後書き)

いつか、主人公とサヤカの恋話を書きたいと思っています！いつか、いつか、ですけど…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7562a/>

携帯アドレスと電話番号

2010年11月3日01時48分発行